

幸せとやりがい広がる

介護の仕事

誰かの『ありがとう』のために!

「『介護の仕事』ってどんなことをするんだろう?」、「『介護の仕事』って楽しいのかな?」…など、介護の仕事に興味はあるけれど、よくわからない、という皆さんは少なくないのではないのでしょうか?宮崎県内には45の介護老人保健施設をはじめ、約2,000の介護サービス事業所があり、各事業所で多くの介護スタッフが高齢者のケアに携わっています。高齢者の生活を支え、幸せになっていただくことで、そのご家族も幸せになる。そしてそれが介護をする私たち自身や施設の幸せになるばかりでなく、地域全体の幸せの輪となってどんどん広がっていく。介護の仕事はそんな幸せと喜びにあふれる仕事です。

そんな介護の仕事の魅力を紹介してもらうため、宮崎市小松にある「介護老人保健施設ひむか苑」を訪ね、介護福祉士として日々高齢者の介護にあたって

いる佐藤美希さんにインタビューを行いました。

(聞き手:公益社団法人宮崎県老人保健施設協会 広報部会)

介護福祉士
佐藤美希さんに
インタビュー



問: 介護の仕事に就こうと思った動機は何ですか

佐藤: 高校生の時、進路指導で担任の先生が「介護福祉士」という国家資格があることを教えてくれて興味がわきました。それでその道に進みたいと思い、九州保健福祉大学に進学し資格を取得。先輩も勤めるひむか苑に就職しました。

問: 介護の仕事に就いて9年目ということですが、どのようなことを心がけていますか

佐藤: 「なんとなくこうかな?」とか「これでいいだろう」などといまいな考えではなく、ケアの内容に根拠をもって臨むようにしています。また「これって普通かな?」と、自分が提供しているケアを振り返って考えるよう努めています。また高齢者に寄り添う気持ちを持つのは大事ですが、「自分たちは家族ではない!」という心がけも大事です。「かわいそうだからしてあげる」のではなく、介護福祉士という自覚を持ち、専門的な視点を忘れないようにしています。ケアは様々な職種の人と連携して行いますが、誰よりも長く身近に接するのは介護職。だから利用者に関する情報を誰よりも多く把握し、それを皆に流して共有するようにしています。



問: 「介護の仕事に就いてよかった」と思うことは何ですか

佐藤: 当苑でリハビリを頑張っていて、自宅へ帰られる方が、涙を流しながら職員ひとりひとりと握手をして出発される姿を見送った時や、当苑で最期を看取った方のご家族から「ここで最期まで看てもらって良かった」という感謝の言葉

をいただいた時にはうれしいと感じます。

問: 「介護の仕事は4K(きつい、汚い、臭い、給料安い)」という声もありますが…

佐藤: 世の中に楽な仕事はなく、4Kの職業は他にもあるでしょうから、介護の仕事が特別4Kだと感じることは少ないです。どん

な職業に就くかより、自分がそこでどんな働きをするかだと思います。

問: プライベートではどう過ごしていますか

佐藤: 独身の時は買い物や旅行、そして趣味のエイサーを楽しんでいました。結婚して子供ができてからは、子供と一緒に過ごすのがリフレッシュ法です。介護業務に携わる中で気が長くなり、おかげで仕事中はもちろん、育児でも怒ることはありません。充実した日々を過ごしています。

問: 今後の目標を教えてください

佐藤: ケアマネージャーの資格を取ったので、それに見合う広く深い知識を身につけて今の仕事に活かしたいです。また仕事と育児を両立させ、どちらも楽しみながら取り組みたいです。

問: 最後にこれから介護の仕事に就こうと考えている人にメッセージをお願いします

佐藤: 毎日「ありがとう」と言ってもらえるのは、介護の仕事のほかにないと思います。看護師が今の地位を確立できたのは、長い歴史の中で地位向上の活動があったから。まだまだ認知度が低い介護の仕事ですが、これからの働きかけで大きな可能性が広がっていると信じています。



やりがいいっぱい！介護の仕事

国家資格である介護福祉士になるには、「実務経験ルート」、「福祉系高校ルート」、そして「養成施設ルート」の3つがあります（公益財団法人社会福祉振興・試験センターホームページ→<http://www.sssc.or.jp/kaigo/shikaku/route.html>*①をご参照下さい）。福祉系の高校や、佐藤さんのように養成施設で知識と技術を学び資格を取得する人もいれば、介護老人保健施設などの施設で実際に介護の仕事に携わりながら経験を積み、介護福祉士になる方もたくさんいます。

また公益社団法人宮崎県老人保健施設協会では毎年開催する研究大会をはじめ、「看護・介護研究部会」などによる研修会や施設見学の実施、そしてホームページ

（<http://www.miyazaki-roken.jp/>*②）やフェイスブック（<https://www.facebook.com/miyazakiroken>*③）、広報誌「老健みやざき」などを通じ、介護職員の資質の向上はもちろん、県内各地の施設や職員間で情報交換や交流を深めるなどの活動を展開することで、介護に携わる人達の「“幸せとやりがい”づくり」をサポートしています。また、他の介護関連団体でも同様の研修会等を開催しています。



高齢者ケアプラン研究部会主催の研修会



リハビリテーション研究部会主催の実技研修会

Check Now!!「介護のやりがいと魅力」動画

公益社団法人全国老人保健施設協会では「これから介護の仕事を始めたい」という方などのために、動画「老健施設の介護のやりがいと魅力」（<http://www.roken.or.jp/about/movie.php>*④）を作成、公開しています。「3Kから3LDKへ」、「自分自身もキャリアアップ」、「自宅に帰る日」の3本からなる動画を見れば、介護の仕事がどんなものか？そしてどれだけ喜びの大きい仕事がおわかりいただけます。

宮崎県内の「介護の仕事」情報も要チェック！

宮崎県福祉人材センター（Tel：0985-32-9740）では、ホームページ（<http://www.mkensha.or.jp/job/index.html>*⑤）上で「これから福祉の仕事に就きたい」、「福祉関連の資格を取りたい」という方に向けて様々な情報を発信したり、相談に応じています。

いっしょに広げましょう『幸せの輪』

私たちといっしょに介護の仕事を始めましょう！そして一人でも多くの方々が、介護が広げる幸せの輪に加わって、その喜びを私たちと分かち合えることを願っています。

利用者様から
ひと言



「佐藤さんをはじめ介護の皆さんがとても優しく、世話をしてくれながら話もよく聞いてくれて幸せです。寝たきりにならないよう、リハビリで歩く練習をしているとみんなが応援してくれます。息子夫婦も

『安心だ』と満足してくれているし、孫やひ孫も会いに来ては喜んでくれるのでもっと長生きしたい！と生き甲斐を感じています」



① 公益財団法人社会福祉振興
試験センターホームページ



② 公益社団法人
宮崎県老人保健施設協会



③ 公益社団法人
宮崎県老人保健施設協会
フェイスブック



④ 公益社団法人
全国老人保健施設協会



⑤ 宮崎県
福祉人材センター

公益社団法人
宮崎県老人保健施設協会

〒880-2112 宮崎県宮崎市大字小松1158番地

TEL 0985-47-3941 FAX 0985-47-3967

<http://www.miyazaki-roken.jp/>

<https://www.facebook.com/miyazakiroken>

